

平成24年度社会教育委員会議3月定例会会議録

平成25年3月19日

201会議室

午後7時～

出席者 委員 7名

事務局 3名

1 開 会

2 報告事項

- (1) 平成24年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2回理事会について (報告資料1)

ア 日 時 平成25年2月21日(木) 午後2時30分～

イ 場 所 稲城市地域振興プラザ4階会議室

ウ 出席者 議長

随 行 事務局1名

【事務局】 資料にもとづき報告。

【議長】 懸案事項だった東京都市町村社会教育委員連絡協議会会則の一部改正について、社会教育委員を会員という名称に変えた。総会で承認される予定。来年度は羽村市が会長市となる。交流大会について従来と変更して、グループに分けての話し合いを行う。ぜひ青梅からも大勢参加願いたい。

- (2) 今年度を振り返って(派遣委員報告等)

【委員】 小中学校を代表して今年度から委員となった。学校教育と社会教育のかけ橋となれるように還元していきたい。社会教育課は土、日なく活動している印象を受けた。

【委員】 明星大学からの推薦で、長い間務めている。社会教育は、全てのことが含まれており難しい。新緑祭では毎年木工クラブとして参加し、地域や小さな子どもとの交流を行い、非常に有意義である。青梅市美術館運営委員を務めている。ビエンナーレOMEでは青梅市以外の申し込みもあった。審査委員も一新した。今後も役に立てるようにしたい。

【委員】 あっという間に1年が過ぎて自分としては不満が残ったが、今後は研修会などにも出るなど、できることはしていきたい。

【委員】 青少対から選出されている。地域の子ども会がなくなってきているが、様々な行事に取り組んでいる。今年度で地区の会長を退任するので、社会教育委員も退任する予定。たくさん勉強できて良かった。

【委員】 家庭教育の関係で選出されている。親子スキンシップ教室などに関心があるので、お手伝いをできればしたい。厚生労働省から家庭教育の拠点作りとして、学校の空き教室などを利用して乳幼児の親子の支援を進めていく旨の説明があった。微力だが手伝っていききたい。

【委員】 学識経験者の立場で出ている。3月末で教育相談所の所長を退任する。皆様には大変お世話になった。引き続きよろしくお願ひします。4年間在籍したが、様子が変わってきている。社会情勢や経済が家庭に影響している。平成19年から特別支援学級が始まり、浸透して今日に至っている。現在報告書をまとめているが、31日までやっている所以休みがない。約200件の電話相談があり、ここ数年になく多い。去年は165件だった。不安や困り関係の相談が、電話やインターク、持ち込みなどである。残念なことは、効果について家庭が大変忙しく、就労も正規雇用の対応でない所以、相談が後回しになってしまい、次の約束がなかなか決まらない。本来なら隔週が望ましいが、月1回から3か月に1回になってしまっているのが特徴である。もう一つは、医者ではなく臨床心理士なので、検査はできるが判定することができない。医者と連携して判定してもらおう。また、特殊学級に入るかどうか就学支援委員会から資料を求められる。例年30件のところ40件きている。医療機関に相談すると3か月先になってしまうので、戻ってきてどんどん相談が入る。今年は一時的な判定会があったが、あと2回ある予定。公的機関としての役割を果たしてはいるが、ままならない状況である。

【議長】 社会教育の事業をみると一大イベントが新緑祭であるが、さらに進化した形、例えば学校関係との関わりはどうか。

【事務局】 どこまで実施している団体が自立できるかが課題。

【議長】 生涯学習の環境作りが大事である。

【事務局】 以前は事務局が全て行ってきたが、実行委員会形式に変わった。観光客など、市外の人にも来てほしい。4月に生涯学習だよりを出す予定である。国体のイベントも予定されている。

【議長】 平成20年に中央図書館ができて、平成21年に来場者が100万人を突破した。

【事務局】 先週の土曜日に300万人を突破した。1年8か月ごとに100万人のペースである。

【議長】 立地が良い。他の図書館の蔵書は2から3万冊だが、中央図書館は25万冊ある。図書館運営委員をしているが、細かい要望は一つ一つ改善している。講座は、6月と11月に吉川英明、北方謙三および二宮清純が来たが、来年度の予定はいかがか。

【事務局】 市民会館を使つての講演会を計画中である。スポーツの他に、若い人向けの健全育成の講座を行いたい。

【委員】 SSW、スクールソーシャルワーカーは、臨床心理士と似た仕事だが、学校と家庭を繋ぎフットワークが軽い。教育相談所に1人入る。画期的である。もう一つは、スクールカウンセラーが従来は都から特別措置で中学校に毎週1回配置、小学校には5校に1校で、それ以外は相談員が行っていたが、全部の学校に週1回派遣される。今後は、相談員が行かなくなるので、情報が入らなくなるが、そのへんのところはいろいろと工夫してやっていく。

3 協議事項

(1) 平成25年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について

ア 日 時 平成25年4月20日(土) 午後1時～

イ 場 所 稲城市中央文化センターホール

【事務局】 正式な通知は来ていないが、4月頭までには出欠の連絡をお願いしたい。

【議長】 12時前に出発する。都合のつく方はぜひ参加願いたい。

(2) 放課後子ども教室推進事業運営委員の選出について

【事務局】 現在就任している委員の退任により、4月1日からお願いしたい。内容は、放課後子ども教室の運営に関しての協議などを年3回予定している。

【議長】 私はスポーツ祭東京2013青梅市実行委員会常任委員と青梅市図書館運営協議会委員になっている。副議長も、青梅市生涯学習推進市民会議委員と青梅市スポーツ振興審議会委員になっている。他の委員も青梅市美術館運営委員になっている。ぜひ女性の委員になってほしい。

【事務局】 ここで切り替え時期なので各推薦母体に依頼する。

【議長】 もう一人の女性委員も前図書館運営協議会委員になっていた。

【委員】 了承。

4 その他

【事務局】 平成25年度に、新しい総合長期計画にもとづいて生涯学習推進計画を策定する。委員の皆様にはいろいろな意見を伺いたい。

【委員】 明星大学で、一般の方対象の生涯学習講座を開催する。興味があったら参加してほしい。私は、木彫をもっと楽しむの講座を担当する。

次回定例会 4月16日（火）